桑折町における 除染作業と除染土壌の 仮置場問題

平成25年5月9日

桑折町原発事故対策課長 渡邊美昭







「こおり」の地名の由来は、奈良・平安時代(8~12世紀)に 東山道に駅家(うまや)が設置され郡家(ぐうけ)が置かれた ところから「郡(こおり)」となり、その後「桑折」に改められた



1189年<mark>源頼朝</mark>による奥州合戦の石那坂の戦いで戦功を挙げた 常陸入道念西一族は、頼朝より伊達郡の地を与えられ、伊達姓 を名乗り、伊達郡桑折郷を本拠地とし<mark>仙台藩伊達家</mark>が誕生した

初代伊達朝宗の墓

桑折町の概要 仙台藩伊達氏発祥の地



1532年第14代伊達稙宗は西山城に移り、城郭整備を行った 当時伊達氏の所領は東北地方南半分、西山城はその中心 西山城は、1990年国史跡に指定され発掘作業を行っている

桑折町の概要 古くからの交通の要衝 (羽州 州 大道 連州街道 連州街道・羽州街道の追分(分岐点)



佐渡,生野と共に日本三大鉱山と言われた半田銀山



半田銀山は、大同2年(807年)に開かれたと言われる 江戸時代は幕府直轄領として江戸幕府の財政を支えた 1879年明治天皇が銀山を行幸され「醸芳」の名を受けた



桑折町の概要

伊達の政治・経済の中心地



明治16年に総2階建<mark>疑洋風様式</mark>による伊達郡役所が設置 伊達郡の政治経済の中心、昭和44年まで県の地方事務所 昭和52年6月27日に、<mark>国指定重要文化財指定</mark>されました

桑折町の概要

こおり桃の郷(桃源郷)



平成6年から19年連続 天皇家へ献上桃

桑折町の概要

王林(おうりん)の発祥の地



1952年(昭和27年)に桑折町伊達崎の大機只之助氏が 永年の品種改良の結果、ゴールデンデリシャスと印度 交配して「林檎の中の王様」という意味で「王林」と命名 1985年原木脇に大槻只之助氏の顕彰碑が建てられた

桑折町の概要

半田山自然公園(半田山・半田沼)



1901年から崩壊始め、1910年<mark>半田山</mark>は陥没地すべり崩壊 1911年から県初の<mark>治山事業</mark>が行われ、復興が進められた 1989年に<mark>半田山自然公園</mark>として、整備され憩いの場となる

平成23年度 原発事故の対策











農作物の 放射能低減化























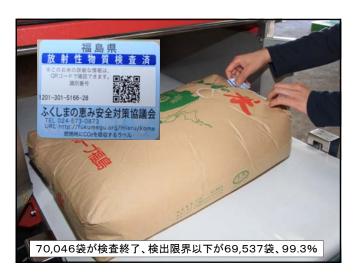












平成24年度 教育施設の除染























一般住宅除染

除染作業の流れ

同意書•確認書

除染作業を行うことへの 同意書 除染作業内容についての 確認書 を記入していただきまして、後日、 除染対策支援事業組合が回収に伺う。 その後、確認書をもとに施工業者が 除染作業の確認を行います。



住宅除染に関する確認書

本町では、今回除染作業を実施することにより空間線量率が平均0.4 μ Sv/h以下となることを目指します。0.4 μ Sv/h以下の場合は、0.23 μ Sv/h以下を目指し作業を行います。今回0.4 μ Sv/h以下にすることにより、放射能の減衰で約3年後には0.23 μ Sv/h以下になると考えています。住宅の除染にあたりましては、所有者や住民の皆様の確認をとりながら進めなければなりません。今までの除染作業で重点作業箇所が分かってまいりましたので必ず作業を行う箇所と線量が高い場合作業を行う箇所がありますのでご了解願いたいと思いますのでよろしくお願いします。

世帯主氏名電話番号

除染作業の流れ

除染作業前のモニタリング

施工業者が住宅の平面測量を行い 除染作業前にモニタリング地点を決め モニタリング測定を行います。





除染作業の流れ

除染作業の実施

国(環境省)の除染ガイドラインや 県の除染業務に係る技術指針に従い 丁寧に除染作業を行います。

















除染作業の流れ

除去物の搬出

各家庭から出た除染物(土壌等)を フレキシブルバックに入れて 決められた地区内の仮置場に 搬出します。





除染作業の流れ

除染作業後のモニタリング

除染作業前に行なった 事前のモニタリング箇所と 同じ場所を放射能度を測定して、 放射線量の減少を確認します。

仮置場の安全性

・放射性物質の飛散・流出・地下浸透の防止

除去土壌は水を通さない層(遮水シート等)の上に容器(フレキシブルコンテナ等)に入れて置きます。 覆土をするとともに、遮水シート等で覆います。 これにより、除去土壌自体の飛散・流出を防ぎ、 さらに雨水等の流入と地下水等の汚染を防ぎます。



仮置場の安全性

・接近を防止する柵などの設置

人が間違って仮置場に近づいて万一被ばくすることを防ぐために、防護柵を設置する。

・空間線量率と地下水のモニタリング継続

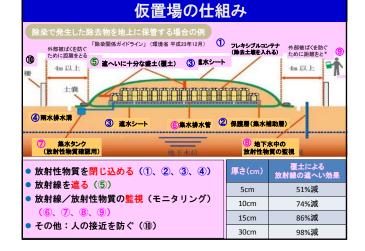
仮置場の設置後、定期的に敷地境界での空間 線量率を測定します。また、定期的に地下水を 摂取し、放射性物質の濃度を測定します。

70

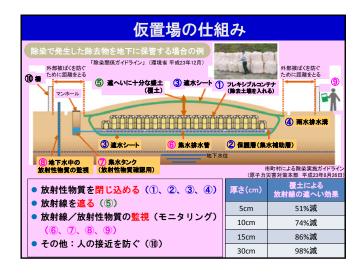
仮置場の安全性

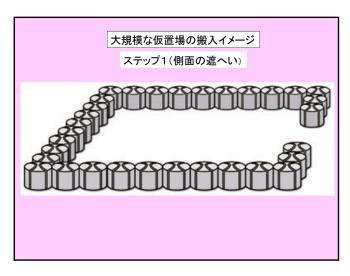
異常が発見された際の速やかな対応

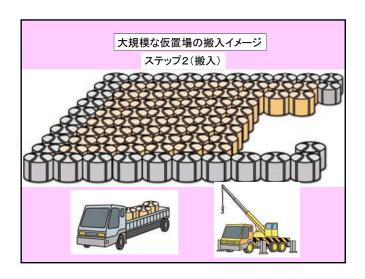
モニタリング結果、周囲の空間線量率よりも著しく高い水準が測定されるなど、万一異常が発見された場合には、原因を明らかにし、遮へい材の追加、施設の補修などの対策を速やかに行います。

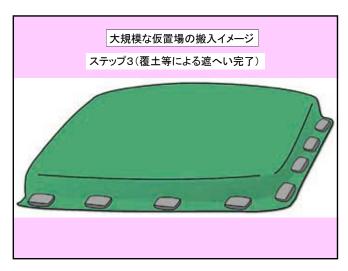


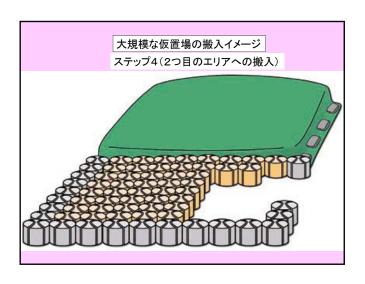
桑折町原発事故対策課

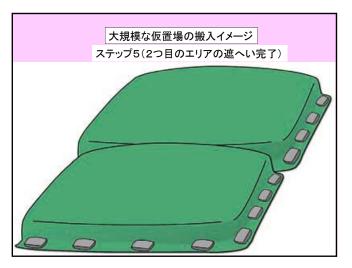












伊達崎地区の 住宅除染









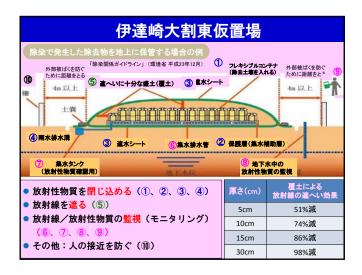














大和団地の除染 (久保八幡町内会)







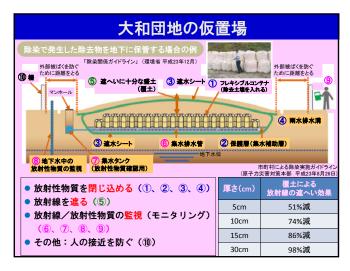












大和団地の 除染実証実験



































大和団地の 除染現地見学会

平成24年12月15日























町民プール 仮置場見学会

平成24年12月15日











仮置場説明会 (放射線実験)







桑折町放射能対 策推進町民会議 の取り組み





放射能対策町民会議の取組み

全町民が放射能に対する町民の不安を克服し、安心して 住み続けられる平穏な日常生活を取り戻し、豊かな恵の 大地を再生するために放射能対策推進町民会議を設置

- (1) 放射性物質低減化に伴う除染活動に関すること
- (2) 放射性物質低減化に伴う仮置場設置に関すること
- (3) 放射性物質の影響による健康管理に関すること
- (4) 東京電力㈱に対する損害賠償請求に関すること
- (5) 国への財政支援要求に関すること
- (6) 関係機関との連絡調整及び情報収集提供
- (7) その他目的を達成するために必要な事項





桐ヶ窪町内会の 取り組み



桐ヶ窪町内会の取組み①

- 4月10日 桐組長(桐組の共有地管理者)との協議
 - ・桐組の共有地を仮置場候補地とする申し入れを 受け協議、相談会の開催を決定する。
- 4月17日 仮置場用地確保のための相談会開催
 - ·町内会役員、桐組役員、農事組合長、婦人会長、 子供育成会長、前町内会長等 22名参加
 - ・町原発事故対策室から説明を受ける
- 4月29日 第1回臨時総会
 - ・相談会などで話し合った候補地を承認
- 5月中旬 隣接町内会へ仮置場設置の申入
 - 隣接町内会臨時総会で、反対の決議



桐ヶ窪町内会の取組み②

6月16日 第2回臨時総会

- ・候補地について協議される
- •「仮置場用地確保のための検討委員会」設置

6月19日 第1回検討委員会

・候補地について実現に向けてた役割分担

6月26日 第2回検討委員会

- •それぞれの活動の成果や進捗状況の報告
- ・次回臨時総会の打合せ

7月 7日 第3回臨時総会

- •町「仮置場設置に関する確認書」の例の提示
- ・保留の候補地が投票により仮置場として決議

桐ヶ窪町内会の取組み③

7月14日 第3回検討委員会

- ・町原発事故対策室に、反対者の要求や要望
- ・仮置場設置に関する確認事項の再検討、合意

8月 2日 第4回臨時総会

- 仮置場の候補地について全会一致で承認される
- 11月19日 桑折町主催「除染先行説明会」開催
 - ・仮置場の完成前に自宅に仮々置きして除染する
- 12月17日 桐ヶ窪町内住宅除染業務委託発注
 - 1月15日 桐ヶ窪町内住宅除染業務委託説明会

現在、住宅除染を実施中(約90世帯)







桐ヶ窪町内会の教訓

- ・最初に<mark>町内会諸団体役員</mark>で相談会を開催したので、 仮置場確保への<mark>意思統</mark>一が出来た。
- 検討委員会を設置したので、委員が仕事を分担し、 会長を支える役割を果たしてくれた。
- ・町担当から除染計画、仮置場の安全対策の説明を受け 質疑応答をしたため、除染と仮置場の必要性を自覚
- ・臨時総会で毎回仮置場の資料を配布、会長自ら 放射線や安全対策を説明し、不安の解消に努めた
- ・臨時総会の結果や取組み経過をその都度まとめ 全戸に配布して、情報の共有化し、理解を深めた
- ・町と「仮置場設置に関する確認書」を取り交わし 町内会の皆さんの安心感の醸成に努めた。

仮置場の事例





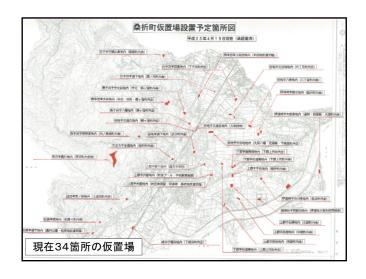






市街地仮置場 (予定地)









町土の除染なくして復興なし 町民の健康なくして復興なし 町民の安心なくして復興なし

「桑折町総合計画3大スローガン」 3月11日以前の桑折町の日常を取り戻し 新しいまちづくりの原動力に繋げる